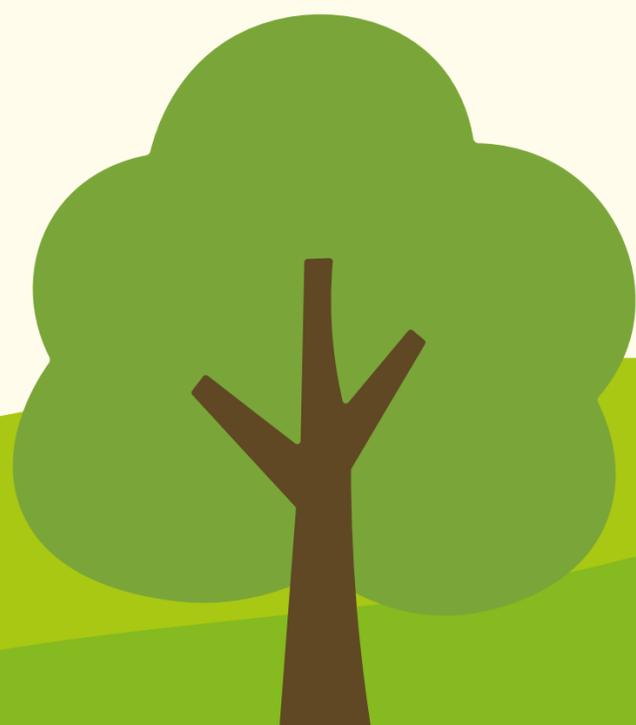
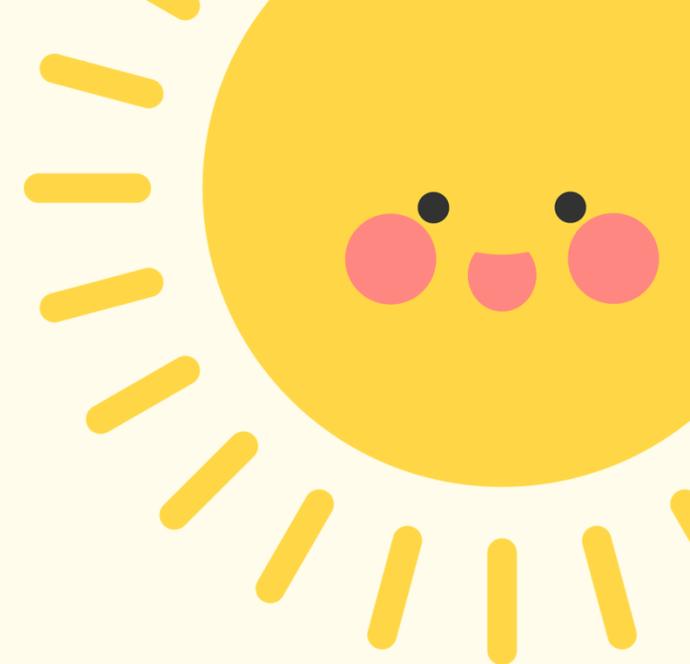


令和7年度

# 金竜幼稚園

とうきょうすくわくプログラム

活動報告



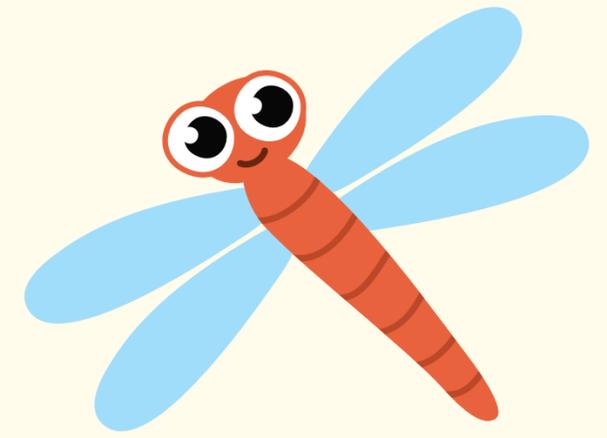
# 目次

1. テーマについて

2. 活動スケジュール

3. 各クラスの活動紹介

- 3歳児りす組 「自然物の見立て遊び」
- 4歳児うさぎ組 「氷の実験」
- 5歳児ぞう組 「大きくしてみよう」



# 1. テーマについて



「こころすくすく 自然とともにだち  
ぐんぐんのびゆく金竜っ子」

## テーマ設定の理由

本園は自然環境に恵まれており、園児は日常的に植物、虫などの生き物に関わることもできるため、自然への興味・関心が強い。そこで、この環境を十分に生かし、子供たちが自分で、また友達と一緒に、発見や試すことを楽しみながら、豊かな感性や知的好奇心を育むことを目的として、上記のテーマを設定した。



# 2. 活動スケジュール

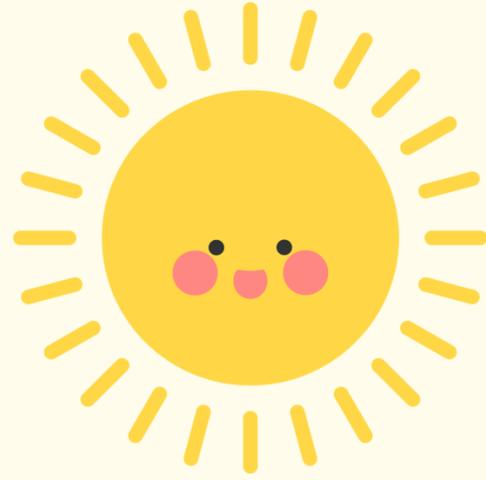


## ○学期ごとに

- ・園内で様々な生き物、植物などに繰り返し触れる中で、自分なりに感じたり気づいたりしたことを、様々な方法で表現する。
- ・道具を活用することで、さらによく見たり、試したり、友達と考えや気づきを交流させる面白さを感じる。
- ・各学年に適した野菜を親子で栽培したり、畑で育てたりして、生長の様子を観察したり、収穫の喜びを味わったりする。

## ○5月、10月、11月

- ・外部講師と園内の自然を探索し、園内の自然について知ったり発見したりすることを楽しむ。11月には、園内の秋の自然を活用して、お菓子等の空き箱に自然物を集める「秋の詰め合わせ」の活動を行う。
- ・その内容から、幼児の関心が強い事象について、さらに継続して関わりを深めていく。



## 3 . 各クラスの活動紹介

# 3歳児りす組「自然物の見立て遊び」



## ● 準備したもの

- ・シャベル、スプーン、お皿などの砂遊び道具
- ・丸い形の画用紙
- ・花びら(サザンカ)や葉、枝

## ● 活動内容

- ・砂をお皿に入れてごちそうに見立てる
- ・花びらをごちそうのトッピングにして自分なりにイメージをもって遊ぶ。
- ・丸い画用紙をお皿にしたり、中に砂を入れてごちそうに見立てて遊ぶ。

## ● 子供たちの様子

- ・砂をごちそうに見立てて、「誕生日ケーキができたよ」「このお花、飾りにできるかも」と嬉しそうにしていた。
- ・友達が自然物を使って遊んでいる様子を見て、同じようにやってみようとしたり自然物を自分なりのイメージで見立てて遊んだりしていた。
- 振り返りをふまえた気づき
  - ・自分なりにイメージしながら自然物を使って見立てることを楽しんでいる。
  - ・花びらや葉っぱなど自然物を使い遊んだり、友達のしていることに関心をもち、自分も刺激を受けて自然物と関わろうとしていた。



# 4歳児うさぎ組「氷の実験」

● 準備したもの  
ゴム手袋、プリンカップ、ステンレス製のボール、小さめの飼育ケース等の容器  
ゲームボックス

## ● 活動内容

・ 様々な容器や場所で氷を作ってみる。

## ● 子供たちの様子①

・ 初めは4, 5人がゴム手袋に水を入れ、「座って待っていれば固まる(凍る)はず」と言って、凍るのをじっと待っていた。

・ なかなか凍らないことが分かり、物干し竿につるす幼児とゲームボックスの上に並べる幼児がいた。

・ 翌日、ゲームボックスの上に並べたものだけが凍っていて、「不思議」「なんでだろう」「ゲームボックスが冷たいのかな」と話していた。



# 4歳児うさぎ組「氷の実験」

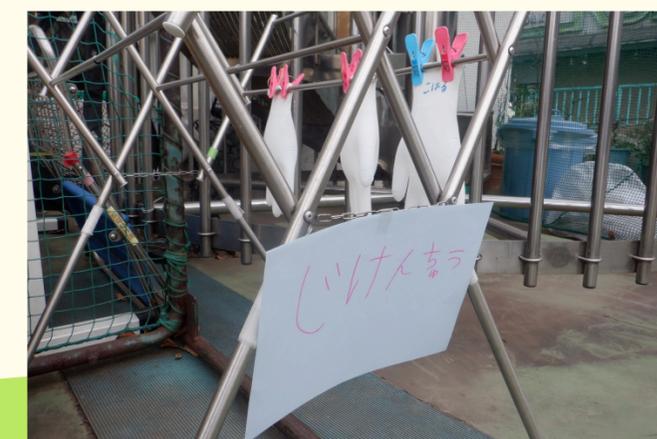


## ● 子供たちの様子②

- ・学級全体で興味が広がり、幼児一人ひとりが好きな容器や好きな場所で氷の実験を行った。
- ・「ゲームボックスより地面の方が冷たいと思うから、ここに置く!」「ゲームボックスの中が日陰になっているからここに置く!」などそれぞれの幼児が4歳児なりに予想を立てながら水の入った容器を置く場所を考えていた。
- ・翌日、ゲームボックス上のものが凍り、地面に置いたものは凍っていなかった。「地面の方が冷たいと思ったのになあ…」などと自分なりに予想したことを振り返る姿も見られた。

## ● 振り返りをふまえた気づき

- ・昨年度から探究的な活動を意識してきたが、幼児が経験を重ねるたびに論理的な思考が見られるようになっていたり、図鑑等を活用したりする姿が出てくるようになった。
- ・気づいたことを、教師だけでなく、友達と共有する姿が出てくるようになった。



# 5歳児ぞう組「大きくしてみよう」



## ● 準備したもの

モニター付き顕微鏡、パソコン、ゲームBOX、草花や木の実など

## ● 活動内容

校庭や森の小道の草花や、落ちている木の実を探してきて、電子顕微鏡で見してみる

## ● 子供たちの様子

- ・ツバキの種や花、落ち葉などを何度も拾いに行っていた。
- ・顕微鏡で拡大すると違って見えて、「わあ!」「えー!」と驚いたり、「なんだかこわい!」などと感じたことを言葉にしていた。



## ● 振り返りをふまえた気づき

- ・見つけたものを顕微鏡で拡大すると同じ模様が見え、別のものが同じ植物だったと気が付き、おもしろさを感じている姿があった。
- ・大きくすると、模様や凹凸が見えて、きれいだと感じたり、他の物も見てみたいという気持ちになったりしていた。